



伊賀市立壬生野小学校
2025年1月8日
発行責任者 藪中 俊典

道標（マイルストーン）としての役割

今年も霊山に、初日の出を拝みに登りました。

いつもは静寂に包まれる霊山寺ですが、元日にはいつも多くの人が集います。そして、暗闇の中、それぞれの持つ電灯の灯りを頼りに、登山道を連なりながら、みんなで山頂をめざし、登り始めました。

静寂の中を黙々と登りながら、今年もいろいろ思うことができました。

1つは、暗闇に連なる光の帯は、まるで天に昇っていく竜のように感じました。一人では成し得ない光景に感動しながら、歩を進めました。

2つは、一人一人が照らす灯りは、自分の足元を照らしながらも、その灯りは、前の人の足元も照らしていることに気がつきました。自分も、自分の灯りだけでなく、後ろの人の灯りに照らしてもらうことで、安全に登れていることに改めて気づきました。ついつい自分だけで成し遂げたように思いがちですが、何事も、多くの人に支えられていることを改めて感じ、今年も「感謝の気持ち」を忘れることなく、日々過ごしたいと思いました。

3つは、毎年思うことなので、以前と同じことを書きますが、暗い中を歩いていると、今、自分がどこを歩いているのか、どのくらい歩いたのかが分かりません。その時に、自分を導いてくれるのが、「何合目」を示す道標であり、途中にある石像であり、うっすらと灯る明かりでした。その時に思うのが、保護者や教員の役割ってというのは、「子どもたちが」目指しているところへ導く「道標（マイルストーン）」ではないのかなということです。でも、その「道標（マイルストーン）」は、決して、自らが山に登る者に何かをしてくれるわけはありません。山に登る者自身が、「道標（マイルストーン）」を手がかりとし、自分の進んでいく道を決定し、自分のペースで登っていかなければ、頂上には到達しません。自分で登るからこそ、しんどいことを経験したり、どこで休憩したらよいかを考えたり、道に迷いそうになったときにどうすればよいかを考えたり、達成感を実感できたりするのだと思います。だっこやおんぶをして子どもたちを頂上まで連れて行ったとしても、同じような経験や思いを育むことはできません。子どもたちには、自ら前に進もうという意志を期待します。

ちなみに、今年の元旦は、風のない穏やかな日でしたが、前夜に小雨が降ったこともあり、山頂に近づくにつれ、まわりは雪景色となってきたので、足元に気をつけながら、一歩一歩、歩を進めました。山頂は雪の原で、子どもたちが雪を手にもって元気に走り回っていました。日の出の時刻が近づくにつれ、東の空は明るんできましたが、上空には灰色の雲が横たわっていて、今年は、日の出を拝むことは難しいかなとも思っていました。ちょうど日の出の時刻には、稜線と雲の間から朝日が顔をのぞかせ、今年も初日の出を拝むことができました。今年が、みなさんにとって、良い年になりますように。

3学期も、学校運営にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



3学期の主な学校行事予定

3学期には、以下のような学校行事を予定しています。ご予約よろしくお願ひします。

なお、PTAに係る選挙や会議等の予定は、別途お知らせします。

つき月	日	曜日	学校行事
1	8	水	3学期始業式 11時30分下校
	9	木	給食開始 13時40分下校
	10	金	4限授業 13時40分下校
	14	火	平常授業
	24	金	学習発表会（2年生→1年生→3年生）12:40～
	31	金	学習発表会（4年生→5年生→6年生）12:40～
2	6	木	5年生 第2回みえスタディチェック ※1
	18	火	授業参観・学級懇談(13:50～) 14時35分下校
	26	水	6年生を送る会 ※2
3	14	金	卒業証書授与式 在校生は11時30分下校
	17	げつ月	～19日(水) 13時40分下校
	21	金	給食終了 13時40分下校
	24	げつ月	3限授業 11時30分下校
	25	火	修了式 11時30分下校

※1 3年生、4年生、6年生についても、次年度の実施に向けたプレ検査を2月中に実施します。

※2 保護者の参観はありません。



3学期も、校長忍者から「まなび～」が届きますよ。

3学期も、校長忍者から「まなび～」が届きます。以前もお知らせしました。

たが、「まなび～」の基本としている問題は、三重県教育委員会が作成したプリントで、それぞれの学年において身につけておいてほしい基礎・基本と

なる問題です。ただ、基礎・基本であるものの、こうした問題の形式に慣れていない子どもたちは、「難しい」と感じてしまうかも知れません。だからこそ、子どもたちには、まず「自分なりに問題に答える（答えを書く）」ことは求めたいと思います。全国学力・学習状況調査が始まったときに一番問題となったことは、無回答が多いことでした。無回答で提出してくる子どもたちの多くが、見ただけで「分からない」と判断し、問題に向き合おうとしないことが問題となりました。「難しい」と思っているお子さんには、教えていただきながら構いませんので、「自分で答えを書く」ように声かけをお願いします。

「空欄」「分かりません」「未提出」はなくすようご協力をお願いします。また、「まなび～」のねらいの一つに、休日の家庭での学習習慣の定着があります。提出は、火曜日までとしてはありますが、できるだけ月曜日に提出できるように、休日に行くよう声かけをお願いします。